

平成27年度

全国私立中学高等学校 私立学校専門研修会

グローバル教育研究部会

実施案内

主催 一般財団法人私学研修福祉会

協力 一般財団法人日本私学教育研究所 後援 日本私立中学高等学校連合会

◆(研究のねらい)◆

私学のダイバーシティをいかに発揮するか

当部会は、諸外国の教育制度等を研究し、わが国の教育制度等との比較などから、「海外在住生徒教育」、「帰国生徒教育」、「外国人生徒教育」、「国際理解教育」等をいかに有機的に連携させるか、また、これらの私立学校の先導的な実践の積み重ねが、公教育全体の発展にどう寄与してきたかについて研究し、更に、国際社会において、グローバルな視野に立って主体的に行動するために必要となる様々な知識やスキルを生徒に習得させるための教育について研究することを目的としています。

今回は、「私学のダイバーシティをいかに発揮するか」を研究のねらいとして、各々の学校が建学の精神を基に、グローバル化が加速する変革の時代の中で、どのように自らの特色を活かして多様性に富んだ教育プログラムを打ち出し、未来を拓く人材を育てていくのか、考察していきます。

研修内容としては、世界を舞台に活躍中のお二人による講演を用意しています。はじめに、世界各地で多くの病院計画・研究に携わる工学院大学名誉教授の長澤泰氏、続いて、世界中で学校の運営や企業の支援を行い、わが国と世界が抱える問題を教育の力で解決していくプロジェクトのプランナーである特定非営利活動法人very50代表理事の菅谷亮介氏に、グローバルかつ多様な観点から語っていただきます。

午後からは、会場を工学院大学附属中学高等学校に移し、21世紀型スキルの実現に向けて、思考力を育む双方向型授業など最先端の教育プログラムへの取り組みを視察します。

今回の研修プログラムが、グローバル化対応教育と世界に羽ばたく人材育成について研究を深め、今後の学校と教育の方向性を模索するヒントとなれば幸いです。

◆ 会 期 ◆ 平成27年9月10日(木)

◆ 会 場 ◆ 工学院大学・新宿キャンパス (東京都新宿区西新宿1-24-2 TEL03-3340-0130)
工学院大学附属中学高等学校 (東京都八王子市中野町2647-2 TEL042-628-4912)
〔研修会に関するお問い合わせは、日本私学教育研究所(電話03-3222-1621)をお願いします。〕

◆ 募集人員 ◆ 50名(先着順)
※申込者が多数の場合は締切日前でも締め切らせていただく場合がございます。

◆ 参加対象 ◆ 理事長、校長、副校長・教頭、国際理解教育担当及び一般の教員

◆ 参加費 ◆ 17,000円(昼食費を含む。)

◆ 基本日程 ◆

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
		30			45	30			45		
9月10日(木)	受付	開会式	講演Ⅰ	講演Ⅱ	昼食	移動	学校視察			閉会式	移動

※プログラム、研修内容は諸事情により変更になる場合があります。

※学校視察は会場(工学院大学・新宿キャンパス)より、貸し切りバスにて移動します。

研修会終了後は、貸し切りバスにてJR・京王八王子駅を経由し、JR新宿駅までお送りいたします。

- ◆ **講演 I** ◆ 演 題 「それぞれの学校が私学のダイバーシティをいかに発揮するか」
講 師 工 学 院 大 学 前副学長・前建築学部長 長 澤 泰
学校法人工学院大学 理事・名誉教授
- ◆ **講演 II** ◆ 演 題 「“世界を変える人材”教育の条件」
講 師 特定非営利活動法人very50 代 表 理 事 菅 谷 亮 介
- ◆ **学校視察** ◆ 工学院大学附属中学高等学校

2015年4月より中学校に日本初のハイブリッドインタークラスを開設し、グローバル教育、イノベーション教育、リベラルアーツ等の21世紀型教育を推進している。また高等学校では、グローバル教育により語学力と表現力を向上をさせることを目標に、英語で学び英語で考える機会を積極的に設け、各教科では、海外で起きている最新情報を積極的に取り入れた授業を行っている。今回は中学校のハイブリッド特進クラス、ハイブリッド特進理数クラスの設立目的や詳細および高等学校におけるグローバル教育の取り組みを紹介していただいた上で、設立初年度ではあるが、中学校の各クラスの授業を視察し、また、高等学校の授業でのグローバル教育の取り組みについても視察を行う。(工学院大学附属中学高等学校の詳細な紹介を次ページに掲載。)

研修内容

- ① 挨拶 工学院大学附属中学高等学校 校長 平方 邦 行
- ② 学校説明
- ③ 授業視察・施設見学
※小グループに分かれて、いくつかの授業（中学校・高等学校）を見学する予定です。
- ④ 学校関係者との協議
工学院大学附属中学高等学校の先生方との意見交換および質疑応答を予定しています。

※視察校での写真撮影については、現地での指示に従ってください。なお、授業中の撮影、および生徒の撮影は禁止します。
※学校内では受付にてお配りした名札を必ず着用してください。
※学校内では禁煙といたしますのでご了承ください。
※見学の際、貴重品等の管理は各自でお願いします。

◆ **講師紹介** ◆

長澤 泰
1968年東京大学建築学科卒、1978年北ロンドン工科大学大学院修了、1987年工学博士(東京大学)、1993年日本建築学会賞(論文)、芦原義信建築設計研究所、厚生省病院管理研究所を経て1989年東京大学工学部助教授、1994年同大学教授、2007年東京大学名誉教授・工学院大学工学部建築学科教授、2009年同大学副学長・工学部長・建築学部長を経て、現在理事・名誉教授。国際病院設備連盟前会長・名誉会員、日本医療福祉建築協会前会長・名誉会員、日本医療福祉設備協会前副会長・名誉会員、日本医業経営コンサルタント協会前副会長・顧問、地球規模大学間ヘルスケア建築フォーラム前事務局長、国際建築家連盟公衆衛生部会理事、日本ファシリティマネジメント協会理事等を歴任し、世界各国の病院計画・研究に携わる。1980-90年代にWHO短期専門家(STC)として多数の発展途上国を歴訪。著書に「医療建築」(共著、2014/10、市ヶ谷出版社、「高齢者のすまい」(共著、2014/01、市ヶ谷出版社)「建築大百科事典」(共著、2008/02、朝倉書店)、「建築地理学」(共著、2007/05、東大出版会)「建築計画」(共著、2005/10、市ヶ谷出版社)など多数。

菅谷亮介
1979年東京生まれ。高校時代に全国音楽オーディション(作曲部門)で合格。以後、中央大学に通いながら7年間avexグループ、Victor Entertainmentのプロキーボディストとして活動。一方で、アジア諸国を中心に医療分野における国際協力の活動に没頭。将来、世界の新興国で社会事業を興すことを決め、音楽の道を卒業し、デンソー、マッキンゼー・アンド・カンパニー(香港)を経て、07年より中米やアジアにて、ビジネスで社会問題を解決する仕組みを研究すべく、各国の社会事業を中心としたプロジェクトにビジネスプランナーとして参画。「教育」が全ての問題解決の基盤であるという思いのもと、08年6月にNPO法人 very50を設立。20、30代の若者のビジネストレーニングをアジアの社会事業家の経営支援を通じて行うプロジェクト(MoG)を展開する。《英国外務省British Council Climate change leader選出(2010)》、インドネシア Binus University Guest lecturer歴任(2011)、HAPA(Hawaii Asia Pacific Association) Japan Young Leader選出(2013)、TEDx Nayabashi(2014)》
映像：https://www.youtube.com/watch?v=W6gzmc_D1_U 記事：<http://logmi.jp/71519>

◆ 視察校紹介 ◆

工学院大学附属中学高等学校

【教育方針】

校訓を「考える行う」としており、「学ぶ生徒が、自分で考え、その考えに従って懸命に行動できる人間に育てたい」との願いが込められている。また、21世紀を迎え、本校を「未来への発信基地」と称し、新たに「挑戦・創造・貢献」という言葉を3つのスローガンとして掲げている。

「考える行う」という精神を身につけ実践し、何事にも積極的に挑戦し創り上げ、人類や社会、そして生命を育む地球のために貢献できる人間形成を目指している。

中学校では本年度より、世界に通用する21世紀型スキルを身につけ、グローバル力を高め、海外大学進学も含めた多彩な進路をかなえさせるために、関心や目標に沿った3つのコースを新設し、それぞれ特色ある教育プログラムを実施して、6年間を最大限に活用した独自カリキュラムを行う。

ハイブリッドインタークラスは、英語・数学・理科の授業をイマージョンで実施し、自然な英語運用能力を育む。世界で通用する力を育むため、英語力だけでなく自分で問題点を見つけ解決する能力を身につけさせることが目標である。

ハイブリッド特進クラスは、文理を問わず幅広い科目をバランス良く学び、すべての学力をレベルアップしていくことを重視したクラスで、自分自身の興味や特性、将来像をじっくり見極め、多様な進路の可能性を広げることを目標にしている。

ハイブリッド特進理数クラスは、理数系に特に高い関心を持ち、優れた能力を有する生徒のために開講するクラスで、数学と理科の授業時間を豊富に設置していることが特徴である。

【グローバル教育】

ただ英語ができるだけでなく、物事を客観的にとらえ、英語でも日本語でも自分の考えを伝えることのできる真のコミュニケーション能力をつけるために、有用な英語を身につけるとともに、英語で学び、英語で考える機会を積極的に設けている。

海外研修は、ただ海外に行くだけでなく、普段の学習カリキュラムと綿密に連動する研修プログラムによって海外で「学ぶ」体験をする。学校の外に出たときに自分たちがどれだけ通用するのか挑戦し、さらに自らのアイデンティティーを知る機会としている。

すべてのコースにおいて、各教科を横断して国際性を育む教育を実施している。社会、理科等の授業では、海外で起きている最新情報などを積極的に取り入れます。英語をツールとして用いることが習慣化することによって、生徒自身が語学力の必要性を実感し、英語を学ぶ原動力につながらせている。

◆ 講師・指導員（順不同） ◆

長 澤 泰（工学院大学 前副学長・前建築学部長／学校法人工学院大学 理事・名誉教授）

菅 谷 亮 介（特定非営利活動法人very50 代表理事）

吉 田 晋（富士見丘中学高等学校 理事長・校長）

中 川 武 夫（一般財団法人日本私学教育研究所 所長）

◆ 専門委員・指導員・客員研究員（順不同） ◆

大 羽 克 弘（千葉英和高等学校 理事長・校長）

平 方 邦 行（工学院大学附属中学高等学校 校長）

須 藤 勉（東京学園高等学校 副校長）

山 中 幸 平（学校法人山中学園 理事長）

山 崎 吉 朗（一般財団法人日本私学教育研究所 主任研究員）

◆ 会場「工学院大学（新宿キャンパス）」案内図 ◆



JR・京王・小田急新宿駅下車、西口より徒歩5分

◆ 会場「工学院大学附属中学高等学校」案内図 ◆

※工学院大学附属中学高等学校へは工学院大学（新宿）から貸し切りバスにて移動し、終了後は再び貸し切りバスにて、新宿駅周辺まで移動し、解散となります。



工学院大学附属中学高等学校からお帰りの場合は、JR・京王八王子駅までは、バス停「工学院大学」（徒歩1分）あるいはバス停「工学院大学西」（徒歩5分）から路線バス（西東京バス）にて約20分。

◆ 参加申込み方法 ◆

1. 別紙「参加申込書」に必要事項を記入のうえ、下記「申込先」にご郵送またはFAXにてお送りください。お電話での申込は受け付けません。

◆ 申込締切日 ◆ 平成27年8月21日（金）必着

※申し込みは先着順に受け付けますので募集人員をこえた場合は、会場の収容人数の都合により、期日前でも締め切らせていただくことがあります。

◆ 申 込 先 ◆

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-3-8 市ヶ谷UNビル6階
「一般財団法人 日本私学教育研究所 私立学校専門研修会係」宛
電話 03(3222)1621 FAX 03(3222)1683
ホームページ <http://www.shigaku.or.jp/>

2. 参加申込書受付後、「参加確認証」と「参加費等請求書（コンビニ払込用紙）」をお送りいたしますので、指定されたコンビニエンスストアで参加費(17,000円)をお振り込みください。なお、参加費等の領収書は「払込受領証」をもって代えさせていただきますので、大切に保管してください。

※申し込み後、2週間以内に上記の書類が届かない場合はお電話にてご確認ください。

◆ 参加申込み後の注意 ◆

1. 「参加確認証」は当日受付にご提示ください。

2. 参加申込のキャンセル・ご欠席について

必ずお電話(03-3222-1621)にて「私立学校専門研修会係」までご連絡ください。なお、参加費のご返金・キャンセル料等は下記にて取り扱いますのでご了承ください。

① 9月4日（金）15:00までにご連絡をいただいた場合

お振り込みいただいた参加会費は研修会終了後1ヶ月以内にご返金いたします。

ただし、事務手数料として1,000円を申し受けますのでご了承ください。

② 9月4日（金）15:00以降にご連絡をいただいた場合。または無断でご欠席の場合、いったん納入された参加費の返金はいたしかねます。研修会資料等の発送をもって代えさせていただきます。なお、参加費のお振り込みがされていない場合でも、キャンセル料を全額申し受けますのでご注意ください。

※天変地異や自然災害によるキャンセルの場合は、状況により対応いたしますので、ご相談ください。

◆ 個人情報の取扱について ◆

当研究所では、参加される先生方の個人情報は、厳重に管理・保護の上、その取扱いについては、法令その他の規範を遵守し、細心の注意を払います。参加申込書にご記入いただく個人情報は、参加確認証および研修会参加のために必要な書類の送付、実施要項の名簿の作成、当研究所の研修会開催等の情報の送付、また何らかの理由で研修会に参加される先生方に連絡する必要が生じた場合のみに利用いたします。

◆ 傷害保険について ◆

本研修期間中の参加者等の傷害保険には、加入いたしませんのでご承知置きください。

◆ 当研修会期間中の連絡先 ◆

080-8168-6780（日本私学教育研究所 携帯電話）

